

優れた女性史の業績に対して贈られる
第36回「女性史青山なを賞」受賞！（2021年10月）

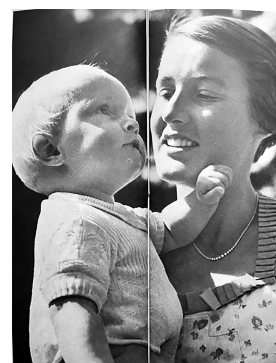
ナチス機関誌「女性展望」を読む

——女性表象、日常生活、戦時動員

桑原ヒサ子

1953年、東京都生まれ。敬和学園大学人文学部教授。専攻はドイツ文学、ドイツ現代文化。共著に『時代を映す鏡としての雑誌』（日本独文学会）、『軍事主義とジェンダー』（インパクト出版会）など。

1932年から敗戦直前まで発行されたナチスの女性向けプロパガンダ雑誌「女性展望」。ナチ女性団が編集・発行し、最盛期には140万部を記録した。誌面では、ヒトラーの指導者像を形作り、女性を戦時奉仕活動へと動員する一方、戦時下の窮乏生活を乗り切るための調理方法や物資の儉約法、連載小説などを掲載していた。



本書は、ナチスの官製女性雑誌のために戦後ドイツの記憶から消し去られた「女性展望」を掘り起こし、ナチス支配下に生きた女性たちの全体像を解明する初の研究成果である。270点の貴重な図版を所収。

本体価格15,840円（同時アクセス1）／2020年9月29日発売（紙版）
ISBN978-4-7872-2090-5／ProductID:KP00051821